

■平成 22 年度資源・ごみ収集量（対目標値）

収集品目・処理品目	目標値 (平成15年度)	平成 22 年度	対目標値
	収集量	収集量	比較
燃やせるごみ	8,985t	8,903t	-82t
燃やせないごみ	430t	378t	-52t
資源ごみ・資源化物	空き缶	223t	-33t
	空きびん	450t	-75t
	ペットボトル	178t	33t
	白色トレー	9t	-6t
	容器包装プラスチック	607t	168t
	ダンボール	560t	-2t
	新聞紙	761t	-818t
	雑誌・雑紙	1,307t	-132t
	古着・古繊維	291t	29t
	紙パック	28t	8t
	硬質プラスチック	88t	-
	金属	37t	-
資源ごみ合計	5,242t	(※) 4,414t	-828t
有害ごみ	30t	27t	-3t
ごみ量合計	14,687t	(※) 13,722t	-965t
人口	57,158 人 (平成 16 年 4 月 1 日現在)	57,579 人 (平成 23 年 4 月 1 日現在)	421 人
一人当たりのごみ量	256 kg	238 kg	-18 kg

(※) 平成 15 年度の分別区分になかった「硬質プラスチック」「金属」の収集量は、平成 22 年度の資源ごみ合計とごみ量合計に含みません。

平成22年度資源・ごみ収集量報告

5月を「燃やせるごみ分別強化月間」に

市では、一般廃棄物処理基本計画に目標値を定め、ごみの減量とリサイクルの推進を行っています。

この目標値と実績値（平成22年度）のごみ量を比べると、皆さんのご協力の

により燃やせるごみを82トン、燃やせないごみを52トン、資源ごみを828トン、減量させることができました。

これからもごみの減量・リサイクルの推進にご協力をお願いします。

燃やせるごみ分別強化月間

燃やせるごみのさらなる減量に向けて、5月を燃やせるごみ分別強化月間とします。

燃やせるごみの中に資源化できるものを入れていませんか。資源化できるものは、燃やせるごみに入れるのではなく、資源として分別してください。

分別のポイント

- 各部屋には、「雑紙」「容器包装プラスチック」「燃やせるごみ」の3種類のごみ箱を置き、分別する。
- 生ごみはしっかりと水を切る。
- 汚れが簡単に落ちる容器包装プラスチックは、拭き取る・洗うなどして「容器包装プラスチック」で出す。
- 買入物は必要な分だけにする。

各部屋にごみ箱3つ！



雑紙・容器包装プラスチックを
しっかり分別！

問合せ 生活環境課生活環境係

リサちゃんといくるちゃんの
これもやってね！
＜細かい紙くずでも雑紙で
出せるよ！の巻＞

出せるよ。ただ散らばらない
ように、ほかの雑紙と混ぜな
いで、透明または半透明のビ
ニール袋に入れて出すのよ。



リサちゃん

いくるちゃん

穴あけパンチを使ったと
きに出る小さな紙くずと
かシュレッダーくずって、
雑紙で出せるの？

教えて！消費生活センター

公的機関を名乗る電話に注意！



Q 教えて！

相談①

国民生活センター職員を名乗る人から電話があり、「以前、未公開株を購入し、被害にあった人に注意を促す電話をしています」と言われました。国民生活センターから直接このような連絡が来るのでしょうか。

相談②

消費者庁職員を名乗る人から電話があり、「投資の被害の調査をしています。あなたのお金を取り戻してくれる会社を紹介するので電話をしてください」と言われましたが、そのような調査をしているのですか。

A お答えします！

いずれも、過去に未公開株や社債、投資などに関して被害を受けた方に電話がかけられており、これらの方の個人情報収集が目的ではないかと思われます。

公的機関では、被害の救済や被害の調査などで電話をしたり、契約内容を問い合わせたりすることはありません。

少しでも疑わしいと感じた場合には、消費生活センターに連絡してください。

問合せ 消費生活センター ☎ 5555-1111

□消費生活センターでは、Eメールでの相談は受け付けていません。

困ったら、まず
消費生活
センターへ



■ 5月のKOYOMI湯

5月は「ショウブ湯」です。

■ 5月のイベント

①子ども縁日

綿アメやポップコーン、輪投げ、マスのつかみ取り（串焼きにして提供）など
日 時 5月3日(火)・4日(水)午後3時～5時
会 場 中庭のふれあい広場
料 金 300円

②さきおり体験会

「はた織り」の楽しさを味わってみませんか。（子ども用の織機もあります）
期 間 4月29日(金)～5月4日(水)
料 金 2,000円
申込み 事前に、電話で「希望日時・人数」を自然休暇村へ

※5月に予定していた「初がつお祭り」は、東日本大震災の影響で入荷が困難となったため、延期します。

問合せ 自然休暇村

☎ 0120-47-4017 ☎ 0551-48-4017

子育て応援コース

□「こんにちは赤ちゃん訪問」がスタート

赤ちゃんが生まれた家庭を訪問し、子育てに関する不安や悩みについての相談に応じるほか、子育てに関する情報誌の配布、必要な子育て支援サービスの紹介などを行います。
対 象 主に第2子以降の生後4か月を迎えるまでの赤ちゃんがいる家庭
訪問までの流れ

①子育て支援課窓口で手当てなどの申請手続きをする際、「こんにちは赤ちゃん訪問受付票」に、「氏名・電話番号」などを記入してください。

②子ども家庭支援センターの訪問相談員が訪問の日程調整のための電話をします。

③約束をした日時に訪問します。

※保健センターでは、主に初めての赤ちゃんがいる家庭を訪問し、赤ちゃんの体重測定や授乳のこと、産後のお母さんの健康状態について相談を受ける「新生児訪問」を行っています。今後は、「新生児訪問」と「こんにちは赤ちゃん訪問」の2つの事業を行い、赤ちゃんのいるすべての家庭を応援します。

問合せ 子ども家庭支援センター ☎ 57812882